

参考文献

全般

- ・林幸秀『科学技術大国中国』中央公論新社 2013年
- ・林幸秀『北京大学と清華大学』丸善プラネット社 2014年
- ・林幸秀『中国科学院』丸善プラネット社 2017年
- ・林幸秀『中国の宇宙開発』アドスリー社 2019年
- ・JST/CRDS『中国の科学技術力について～世界トップレベル研究開発施設～』2012年

第三章

- ・「国民経済・社会発展第13次五か年計画」
- ・「中長期科学技術発展計画綱要（2006年～2020年）」
- ・「中国製造2025（Made in China 2025）」
- ・「国家イノベーション駆動型発展戦略綱要（2016年～2030年）」
- ・「健康中国2030」
- ・「国家科学技術イノベーション第13次五か年計画（2016年～2020年）」
- ・「農業農村科学技術イノベーション第13次五か年計画」
- ・「バイオ技術イノベーション第13次五か年特別計画」
- ・「衛生・健康科学技術イノベーション第13次五か年特別計画」
- ・「健康産業科学技術イノベーション第13次五か年特別計画」
- ・「中医薬科学技術イノベーション第13次五か年特別計画」
- ・「医療機器科学技術イノベーション第13次五か年特別計画」
- ・「国家基礎研究第13次五か年特別計画」

第四章

- ・文部科学省『科学技術要覧2018』
- ・文部科学省科学技術・学術政策研究所『科学技術指標2019』
- ・中国統計出版社『2017中国科技統計年鑑』
- ・科学出版社『2018中国生命科学・生物技術発展報告』
- ・Nature Index <https://www.natureindex.com/>
- ・JST/CRDS『高い被引用回数論文を著した研究者に関する調査報告書』
- ・JST/CRDS『研究開発の俯瞰報告書統合版（2019年）』

第五章

- ・国家自然科学基金委員会（NSFC）<http://www.nsf.gov.cn/>

- ・ 科学技術文献出版社『2018 中国生物技術基地平台報告』 2018 年
- ・ クラリベイト・アナリティクス Essential Science Indicators
- ・ Nature Index <https://www.natureindex.com/>
- ・ QS University Ranking <https://www.topuniversities.com/university-rankings>
- ・ 科学出版社『中国科学院統計年鑑 2017』

その他、関係の HP、ネイチャーやサイエンス誌の記事などを参考とした。

あとがき

本書は、筆者が理事長兼上席研究フェローとして在職する公益財団法人ライフサイエンス振興財団の業務の一環としてとりまとめたものである。

筆者は本書の執筆に関して、「中国におけるゲノム関連科学技術の現状分析と日本の同科学技術の振興への示唆」という課題で一般財団法人新技術振興渡辺記念会より平成31年度上半期の研究助成を受けている。この研究助成を基に、中国におけるゲノム関連科学技術の資料とデータを収集し、中国の北京と深圳の関連施設の訪問と関係者ヒアリングを実施した。その成果は本書の「はじめに」で紹介したように、文部科学省ライフサイエンス担当分析官の佐藤真輔氏の協力を得て本書第八章などに反映されている。同記念会の高木喜一郎理事兼審議役、下田隆二技術参事、倉並真一技術参事及び文部科学省の佐藤真輔分析官に、改めて謝意を表したい。

そのほか、岩本愛吉東京大学名誉教授や東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点の松田善衛、林光江両特任教授には、中国での現地調査準備やインタビューで協力いただくと共に本書籍に対して貴重なご意見をいただいた。公益社団法人科学技術国際交流センターの秦舟氏には、中国の現地調査でお世話になった。国立研究開発法人科学技術振興機構北京事務所の茶山秀一所長、横山聡副所長・次席代表、李清副所長、国立研究開発法人理化学研究所北京事務所の油谷泰明所長には、現地調査準備で協力いただくと共に本書籍に対して貴重なご意見をいただいた。また、理化学研究所の林崎良英プログラムディレクター及び池川志郎チームリーダー、文部科学省国立教育政策研究所の新井聡フェロー、金沢先進医学センターの富田勝郎理事長、中国科学院上海植物逆境生物学研究センターの河野洋治准教授からも、本書籍に対して貴重なご意見をいただいた。さらに、ライフサイエンス振興財団の塚本勝常務理事、村田知子氏には、新技術振興渡辺記念会の研究助成に係わる事務作業でお世話になった。

これらの方々に深く感謝申し上げたい。

2020年3月
国際科学技術アナリスト
林 幸秀

著者紹介

林幸秀（はやしゆきひで）

公益財団法人ライフサイエンス振興財団理事長兼上席研究フェロー。国際科学技術アナリスト。1973年東京大学大学院工学系研究科修士課程原子力工学専攻卒。文部科学省科学技術・学術政策局長、内閣府政策統括官（科学技術政策担当）、文部科学審議官、宇宙航空研究開発機構（JAXA）副理事長などを経て、2017年より現職。

著書に『科学技術大国中国～有大有宇宙飛行から、原子力、iPS細胞まで』、『北京大学と清華大学～歴史、現況、学生生活、優れた点と課題』、『中国科学院～世界最大の科学技術機関の全容、優れた点と課題』、『中国の宇宙開発～中国は米国やロシアにどの程度近づいたか』など。